

令和4年度 市有施設のエネルギー使用量

(1) 市有施設のエネルギー使用量の集計

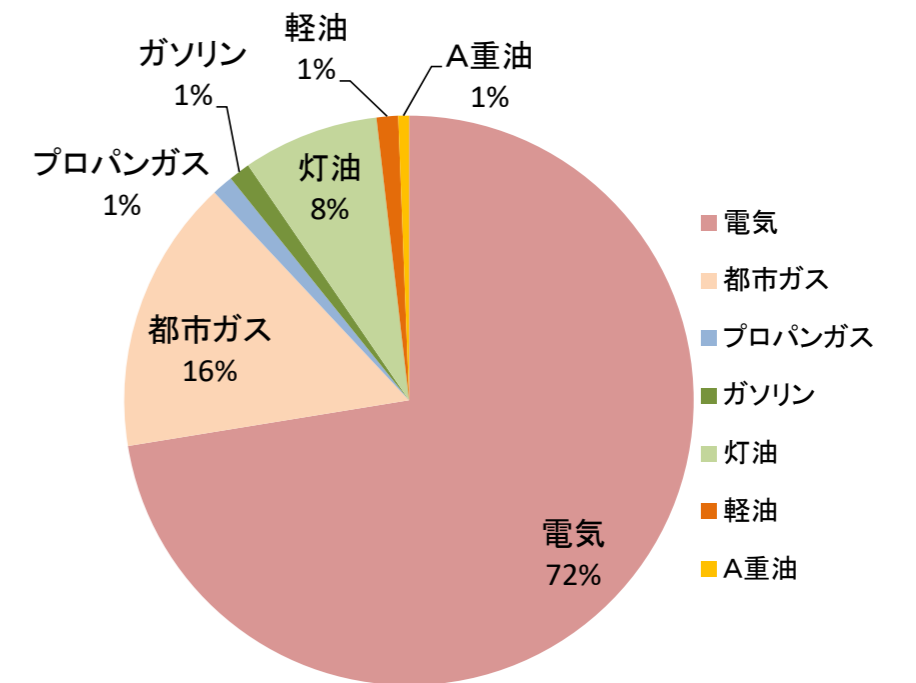
全市有施設(庁舎、学校、指定管理者制度導入施設など)における電気、ガス、灯油等と、全庁用車のガソリン、軽油等を集計した。

(2) 市有施設のエネルギー使用量の状況

種類別のエネルギー使用量は、原油換算すると以下のとおり

種類別	令和4年度 報告使用量	令和4年度 原油換算量(kℓ)	令和3年度 原油換算量(kℓ)	対前年度比(kℓ) 〃 (%)	全体に占める 割合(%)	主な増減の理由
電気	81,839 MWh	20,822	21,159	△ 337 -1.6%	72%	森の駅のオープンや新型コロナウイルス感染症の影響で休止・利用制限を行っていた施設の再開・制限緩和により利用者が増加したものの、水道局の浄水場間送水等運用工夫及び新型コロナウイルス感染症の影響の巣ごもり需要により増加していたごみの排出量が減少したこと等により電力が削減されたため。
都市ガス	4,031,835 m ³	4,483	4,461	22 0.5%	16%	新型コロナウイルス感染症の影響で休止・利用制限を行っていた施設の再開・制限緩和による利用者増加のため。
プロパンガス	132,889 m ³	347	335	12 3.4%	1%	新型コロナウイルス感染症の影響で休止・利用制限を行っていた施設の再開・制限緩和による利用者増加のため。
ガソリン	388 kℓ	347	359	△ 12 -3.6%	1%	令和3年度に比べて降雪量が少なく、小型除雪機の稼働が少なかったため。
灯油	2,346 kℓ	2,221	2,238	△ 17 -0.8%	8%	新型コロナウイルス感染症の対策のため実施していた時差出勤を3月から廃止したことより、空調機器の稼働時間が減少したため。
軽油	361 kℓ	351	312	39 11.1%	1%	小中学校での空調設備の利用が増えたため。
A重油	174 kℓ	175	112	63 36.2%	1%	保科温泉のペレットボイラーの故障により使用量が増加したため。
合計		28,746	28,977	△ 231 -0.8%	100%	

令和4年度 市有施設の
エネルギー種類別構成比(原油換算)



(3) 市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移

令和4年度までの市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移は以下のとおり

年度	使用量
H30	29,480 kℓ
R1	28,898 kℓ
R2	28,417 kℓ
R3	28,977 kℓ
R4	28,746 kℓ

